かんたんにもっと気軽に育てるコツ

タネから収穫まで短期間で育ち、暑さ寒さにも強い葉もの野菜は、
失敗も少なく、育てやすいので、初心者向きの種類です。
タネをまいたら、あとは水やりをするくらいで手間いらず。
手持ちの容器でも育つから、気軽にスタートできます。
タネまきから約1カ月で収穫でき、次々に葉が伸びて来るので、
サラダやお味噌汁の具など、お料理に使えて便利。
難しいことは何もないけれど、下の３つを心がけてみると、
いっそう楽しくできます。

葉もの野菜を初心者が上手に作るコツはこの３つ!

1 少量から始めてみる

紙コップ数個、鉢１個ほどの少量なら、
目が届きやすく、管理もラク。コンパクトなので、
日当たりや風通しの良い位置へ動かしたり、
虫や病気の心配があってもすぐに対応できます。
少量ずつ期間をずらして育てていけば、
長い期間、次々収穫できます。

2 芽が出るまでは、目をかけて

タネから育てる葉もの野菜は、発芽までが大切な時期。
特に小さい容器の場合は水切れが早いので、
土を乾かなさいように水やりはこまめにしてください。
新聞紙をかぶせて湿度を保つほか、寒い時期は室内で
育てるなど、注意が必要です。

3 失敗しても次がある!の気持ちで

１袋にはたくさんのタネが入っているので、2〜3 回に
分けてまいていけば、はじめからうまくいかなくても、
大丈夫。美味しくて安心な野菜がたくさんできるのも
うれしいですね。